

文芸コーナー

短歌

加藤恵美子選

俳句

田口 三石選

日々変わる風の行方に逆らはず秋桜ゆるる昨日も今日も
すみとほる光の中に幼子は赤蜻蛉追ふこすもす揺らして
二週間の留守に溜まりし新聞を三日かかりでざっと読み終ふ
落葉ふみふと歩む房総は風さやかにて会話の弾む
初雪の富士の高嶺を遠く見て歩めば村里黄葉散り行く
小林大門下 品村 葉子
小倉台 小澤美美子
木刈 山本 靖子
小林浅間 前田千代子
竜腹寺 五十嵐次男

<短歌・俳句をお寄せください>

一人一首または一句で未発表のもの。毎月 20 日締め切り(必着)です。投稿は、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、広報広聴課広報広聴班まで。



広報レポーター：田中 謙一郎 (小林浅間)

施設がいに★

船穂コミュニティセンター

平成15年開館の船穂コミュニティセンター(船穂786-1)は、約6,500㎡の敷地にゆたかりした広場と約800㎡の平屋がある施設です。



明るくのびのびと過ごせます

船尾の地区にあってなぜ「船穂」なのか。平成元年に転入して来た小生は、資料を調べ明治の町村制施行時に木下町・大杜村(後に大森町)・船穂村・永治村が誕生し、61年前の昭和29年にこの2町2村が合併し印西町になったこと、船穂村が今の船穂を含む、武西・戸神・松崎・松崎台・結縁寺・多々羅田・草深・泉地区であったことを知り

「まず礼儀から始まり、4人でチームを組んで動く重要性を柱に学習を行っています。時間がたつにつれ生徒の対応が変化していくの...」
「船穂」なのか。平成元年に転入して来た小生は、資料を調べ明治の町村制施行時に木下町・大杜村(後に大森町)・船穂村・永治村が誕生し、61年前の昭和29年にこの2町2村が合併し印西町になったこと、船穂村が今の船穂を含む、武西・戸神・松崎・松崎台・結縁寺・多々羅田・草深・泉地区であったことを知り

年間最大のイベントはお祭り「船コミまち」で、今年10月25日に開催。この日に合わせて取材したところ、登録団体の発表会が多目的室で次々行われ、いろいろな模擬店が並び、家族連れや多くの子どもたちが楽しんでいました。イベントはほかにゴルフ大会(5月・9月)、納涼イベントの流しそめん&工作教室



お祭り当日は天気に恵まれました



見事な夏のグリーンカーテン

運営協議会会長の宮崎さんによると、当館の魅力は、緑鮮やかな多目的広場や満開の桜並木、広々とした空間とのこと。
今後も地域を盛り上げていく場となることを期待します。
船穂コミュニティセンター
☎(48)5311。

ほっとレポート



広報レポーター：村形 彰治 (小林北)

頑張る中学2年生 消防署の職場体験

みなさん、今年も10月から11にかけて、図書館・幼稚園・コンビニなどの市内各所で中学生ぐらいの子どもが一生懸命働いているのをご覧になったことがあると思います。これが職場体験学習です。生徒が働く人と直接接すること、また実際の知識や技術、技能に触れることで、学ぶことや働くことの意義を理解し、生きることに誇りを感じることが、職場体験学習の目的です。
市では平成13年から始まり、今年で15年目を迎えました。



放水訓練では、振り回されないよう体重をかけます

が参加しています。訪れた日は初日で、消防署の役割と規律についての説明から始まり、防火衣装着、放水ホース取り扱い、放水訓練、はしご車体験と、救命訓練が行われていました。最初、生徒たちはポンペを含む重い防火衣を着るのに苦労し、放水訓練では2人がかりでもホースに振り回され、救出訓練では被害者の救助に戸惑っていました。時間がたつにつれ動作がきびきびとして真剣さが増し、短時間でとても成長したという印象を受けました。



「要救助者確認！」空気が張り詰めます

「まず礼儀から始まり、4人でチームを組んで動く重要性を柱に学習を行っています。時間がたつにつれ生徒の対応が変化していくの...」



消防車の前で全員集合

が頼もしいです」と語っていました。
職場体験学習は、原山中学校では市内27カ所、87人の生徒が行いました。
取材して、この学習が生徒にとって貴重な経験であることがよく分かりました。みなさんどうぞ応援してあげてください。

リサイクル情報広場

掲載情報は11月12日現在
☑クリーン推進課クリーン推進班(☎内線 383)

◆ゆずりませ情報

- ①犬の洋服②スキー板・ストック・スキー靴③ガラスケース入りわらべ人形④五月人形

◆さがしています情報

- ①補聴器②木刈小学校体操服上下③しおん幼稚園女子制服④錆物の羽釜⑤スピードラーニング初級(16巻)テキスト付⑥布佐台幼稚園男子夏制服⑦ソファ⑧ローテーブル⑨ダイニングテーブルセット

※詳しくは市ホームページをご覧ください

◆『広報いんざい』平成 28 年 1 月 1 日号の配布
年末年始の配達状況により、年内に届く場合があります。ご了承ください。☑広報広聴課(☎内線 418・419)。